令和８年度　健診・がん検診等希望調査について

令和８年度の各種健(検)診を実施するにあたり、世帯ごとに調査票を令和８年１月上旬に郵送します。

・提出期限：令和８年２月４日(水曜日)

・提 出 先：各世帯で個別に各出張所、保健センターげんき荘、役場福祉保険課に提出をしてください。※小組合長による回収はありません。

提出する用紙は最大３種類同封されています。

全世帯にご提出していただくもの

① 各種健診・検診希望調査

（ピンク色の用紙）

【記入例】大字三田井○○○

高千穂　太郎　様

行政区　：　○○○

班　　：　○○

連絡先(電話番号)をご記入ください

(TEL：　　)

令和8年度　各種健診・検診　希望調査票

★ 期　限　：　令和8年2月4日(水曜日)

★ 提出先　：　各出張所　・　保健センターげんき荘　・　役場福祉保険課

● 検診（健診）ごとに、受ける場合は○、受けない場合はその理由を番号で記入します

【集団検診(健診)を受ける場合】

検診ごとに○(受ける)を記入します

注意：＊＊の検診は対象外です

【集団検診(健診)を受けない場合の理由】

1、勤務先で受ける

2、病院・人間ドックで受ける

3、今年度は町の集団検診（健診）は受けない

(検診(健診)ごとに受けるなら○、受けない場合は理由を選んで番号を記入)

整理番号	氏名 生年月日	国保特定健診	わけもん健診	結核レントゲン	大腸がん	肺がん	子宮がん	乳がん	胃がん
11111	高千穂　太郎 昭和○○年○月○○日	＊＊	＊＊	○	○	2	＊＊	＊＊	2
22222	高千穂　花子 昭和○○年○月○○日	○	＊＊	＊＊	2	＊＊	○	○	3
33333	高千穂　元気 平成○○年○月○日	＊＊	1	＊＊	＊＊	＊＊			

空欄はすべてご記入ください！
「＊＊」は対象外です。

◆ 受ける場合→空欄に「○」
　それぞれの受付時期にご案内をお送りします。
　国保特定健診は【未定】、【未提出】の方にもご案内予定です。

◆ 受けない場合→理由を選んで空欄に「数字」を記入

希望する場合のみ提出するもの（※同封されている方のみ）

② 11 月の検診希望票（黄色の用紙）

内　　容：腹部エコー検査
　　ヘリカル CT 肺がん検診
　　骨粗しょう症検診

実施時期：令和８年 11 月

③ 後期高齢者集団健診申込書

（オレンジ色の用紙）

※対象者が世帯にいない場合は同封されていません。

なぜ希望調査を実施しているの？

提出いただいた回答をもとに、各健(検)診の希望人数を把握し、当日スムーズに受診することができるよう、希望者への案内や受診時間の割り振りを工夫することができます。

あくまで健診を希望するかどうかの調査ですので、健診の予約票ではありません。

※4月実施の「総合がん検診」をご希望の方は、別途保健センター窓口での申込が必要ですのでご注意ください。

地域おこし協力隊の そうなっちゃ！高千穂

地域おこし協力隊活動報告（移住担当）

私は現在、高千穂町が移住・定住推進事業を委託している「NPO法人一滴の会」に出向し、事務局として従事しています。一滴の会での地域おこし協力隊としての活動をこちらにご報告いたします。

【鹿屋市から人口減少・空き家対策の視察】

鹿児島県鹿屋市から、輝北総合支所住民サービス課の職員1名と町内会長4名の皆さんが、人口減少や高齢化、空き家対策の取組を視察するため、一滴の会に来所されました。

当日は、一滴の会が町と連携して行っている空き家バンクの運営や、移住相談、移住者と地域住民とのつながりづくりの取り組みを紹介し、行政の部署だけでなく、地元をよく知る住民団体や不動産業者など、多様な主体が関わることの大切さについても意見を交わしました。

【中学生が空き家片付けを体験】

中学生2名が一滴の会の活動に参加し、空き家の片付け作業を体験しました。

「授業の一環で、一滴の会の活動に参加したいのですが、手伝えることはありますか」と中学生本人から電話があり、今回の取り組みにつながりました。

事前に現地で打ち合わせを行い、一滴の会の活動内容や空き家バンクの役割、高千穂町の空き家や移住の現状といった背景、当日の作業の流れや注意点などを説明したうえで当日を迎えました。作業当日は、家具や荷物の運び出し、残置物の袋詰めなどの作業を一緒に行い、自分たちの手で空き家が片付いていく様子を体験していただきました。

【小学校の授業に参加しました】

小学校の授業で、空き家について関心のある生徒の話し合いに参加しました。

自分たちに何ができ、何ができないのかを整理する中で、専門の大人に質問することが授業の趣旨でした。授業では、一滴の会の活動や空き家の現状について、15以上の積極的な質問がありました。

空き家の問題は少し複雑で、理解してもらえるか不安もありましたが、生徒たちは熱心に耳を傾けてくれました。

なぜ町内に空き家が多く、放置されてしまうのかについて強い疑問を持ち、「自分たちにできることはないか」を真剣に考えている様子が印象的でした。短い時間でしたが、学生たちとの交流を通して、町内の子どもたちが私たちと同じ問題意識を持ち、行動しようとしていることを心強く感じました。

甲斐　大将
Kai　Daisuke

令和6年6月企画観光課地域おこし協力隊として着任
NPO法人一滴の会へ出向し、移住相談、移住交流、空き家の調査や管理に関する業務を担当
趣味は海釣りと料理。

NPO法人一滴の会の連絡先 ――
☎ 0982-83-0111 ✉office@itteki.org